

1 商業

施策の基本的考え方

- 商店街の魅力と賑わいの創出を図るため、商店街が取り組む創意工夫したイベント事業や街路灯などの共同施設の整備に対する支援を行います。
- 中心市街地商業等の活性化を図るため、中心市街地活性化基本計画の事業を中心に、効果的な事業展開を促進します。
- 経営の近代化を図るため、融資制度の充実、共同事業の促進、診断・指導事業の充実や経営者意識の高揚を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
商業 01	01 活力ある商業の育成	01 商業推進事業
		02 中心市街地商業等活性化事業 (再掲)
	02 中心市街地商業等の活性化	01 中心市街地商業等活性化事業
		02 商業推進事業 (再掲)
	03 経営の近代化	01 融資対策事業

01 活力ある商業の育成

商業推進事業 【事業No.04010101】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

事業概要

- 商店街が取り組む創意工夫したイベント事業や街路灯などの共同施設の整備に対する支援を行い、商店街の魅力と賑わいの創出を図る。

現況と課題

- 郊外大型店の立地促進、店主の高齢化による後継者不足などによる経営基盤の低下、空き店舗の増加。
- 商店街活性化に向けた取り組みを促進する人材不足。

今後の事業展開

- 商店街が抱えている課題・問題点の改善及び商店街の活性化に向けた知識や情報、ノウハウ等の習得を支援するための専門家を派遣する。
- 商店街が意欲と責任を持って積極的に取り組むイベント事業や街路灯などの共同施設の補修等に対して支援を行う。
 ※成果指標の設定は、平成19年度商業統計調査数値：248,937百万円を基準に、中心市街地活性化基本計画目標数値算出増加率4.6%から毎年度の伸び率を算出し設定した。(伸び率0.92%)
 ※調査は毎年実施されないので実績数値が毎年度使用できない。目標値と実績値の比較は経済センサス基礎調査が実施される平成23年度とする。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22~24)
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
年間商品販売額(百万円)	251,000	253,000	255,000	258,000	260,000	773,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	5,149		5,073	15,073	25,073	

中心市街地商業等活性化事業 【事業No.04010102←No.04010201】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

02 中心市街地商業等の活性化

■中心市街地商業等活性化事業 【事業No.04010201】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237- 5693
			商工振興係		

事業概要

- 市民、商業者、行政、その他関係機関等が連携し、中心市街地活性化基本計画の事業を中心に、効果的な事業展開を促進する。

現況と課題

- モータリゼーションの進展や郊外大型店の立地促進、居住人口の減少など中心市街地の魅力と活力が低下している中で、中心市街地活性化に向けた事業実施の一方で、中心商店街の歩行量が長期的な減少傾向にあるとともに、空き店舗の改善が十分図られていない。

今後の事業展開

- 甲府紅梅地区の再開発事業、甲府駅北口の新都市拠点整備事業、市や県の新庁舎建設事業などの新たな魅力空間の創出と賑わい拠点の形成に向けた基盤整備と連動する中で、中心市街地の再活性化に効果的な事業展開を図る。

※目標値の設定は、中心市街地活性化基本計画の平成24年度目標値約188,000人と平成20年度の実績値156,000人を基に毎年度の伸び率を算出し設定した。(5%の伸び率)

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22~24)
			平成22年度	平成23年度	平成24年度	
中心商店街歩行量 (3日間)(人)	平成20年度 155,991	平成21年度 163,000	平成22年度 171,000	平成23年度 179,000	平成24年度 188,000	538,000
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	29,245		42,748	26,248	26,248	

■商業推進事業 【事業No.04010202←No.04010101】再掲	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237- 5693
			商工振興係		

03 経営の近代化

■融資対策事業 【事業No.04010301】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237- 5694
			金融係		

事業概要

- 中小企業の経営及び構造の改善並びに経営基盤の強化を促進するため、中小企業者に対し、預託金・寄託金を原資に指定金融機関を通じ、必要な事業資金の融資を行い、本市商工業の健全な発展に資することを目的とする。

現況と課題

- 国の経済対策としての緊急保証制度が、一昨年に開始されたことにもない、市内の中小企業者が緊急保証制度を活用した融資を受けるために必要となる認定業務を行っているところである。
今年度においても、緊急保証制度を活用した融資を受ける中小企業者が依然として多く、この制度を活用して、市や県の制度融資、また金融機関による融資などによってタイムリーな資金の供給が行われている。

今後の事業展開

- 緊急保証制度が、対象業種が拡大されるとともに認定基準が緩和され、景気対応緊急保証制度として実施されることとなった。このため、制度の周知を図りながら、引き続き金融機関・保証協会と連携を取りつつ、中小企業者に対して円滑な融資が実行されるための下支えを行っていく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
倒産件数比率(%) (融資件数に対する)	3.14	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	565,636		564,943	564,943	564,943	

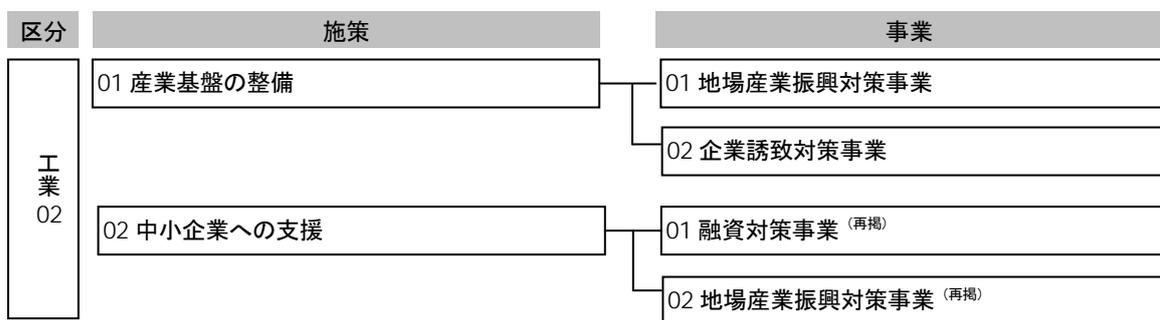
*のついた用語は用語解説をご参照ください。

2 工業

施策の基本的考え方

- 中小企業振興策として経営革新や人材育成に対する支援をするとともに、産業の活性化を図るため、既存工業団地の生産環境の維持増進及び企業誘致を図るため、新たな工業団地の建設など企業立地に向けた環境整備に努めます。
- 新規分野への進出、高度化、企業連携や異業種交流などを支援し新たな産業の創出を図るための環境整備に努めます。

施策・事業の体系



01 産業基盤の整備

■地場産業振興対策事業 【事業No.04020101】	担当部課係名	産業部	商工振興課	ダイヤル	237-5693
			商工振興係		

事業概要

- 地域産業の発展の担い手である地場産業・伝統産業を支援し、産地基盤の確立と販路拡大並びに業界の振興及び育成を図る。

現況と課題

- 地場産業・伝統産業の業界は、長引く景気低迷による消費者需用の減少、事業主の高齢化による後継者不足などを要因に厳しい経営環境に直面している。
- 地域経済を牽引するものづくり基盤の強化と次代を担う人材育成に取り組む中で、新製品・新技術の開発、販路開拓等の新たな需用創出に努めることが必要である。

今後の事業展開

- 現行の地場、伝統産業関連業界への支援を継続しつつ、若手経営者との交流機会の創出や産学官連携や農商工観の産業間連携を促進する中で、より一層の地場・伝統産業の振興発展を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
地場・伝統産業、市場・販路 拡大事業実施回数(回)	10	10	10	10	10	30
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	36,492		25,036	24,186	23,336	

■企業誘致対策事業 【事業No.04020102】	担当部課係名	産業部	産業推進担当	ダイヤル	237-5695

事業概要

- 企業誘致、産業集積を促進することによって、地域産業の振興や地域経済の活性化、また雇用機会の拡大、自主財源の確保などを目的とし、新たな工業団地用地を造成し積極的な企業誘致活動及び企業誘致のための環境整備を行う。

現況と課題

- 新たな工業団地用地の造成については、当該地が農用区域及び市街地調整区域に属しているため、各種法令の手順に従い市内、県及び国との調整・協議・同意・許可を得る中で、工業団地用地の早期造成が可能となるよう働きかけを行っているが、今後、協議・同意・許可等に多くの日数を要する。

今後の事業展開

- 新たな工業団地用地の造成に当たって、事前に農振法・農地法・都市計画法等の各種法令に従い、関係機関との協議・調整を積極的に図り、早期に協議・同意・許可等を得られるよう努める。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
農振法に基づく許可権者との 協議調整の進捗状況(%)	—	100	30	40	30	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	17,224		1,431	1,431	1,431	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

02 中小企業への支援

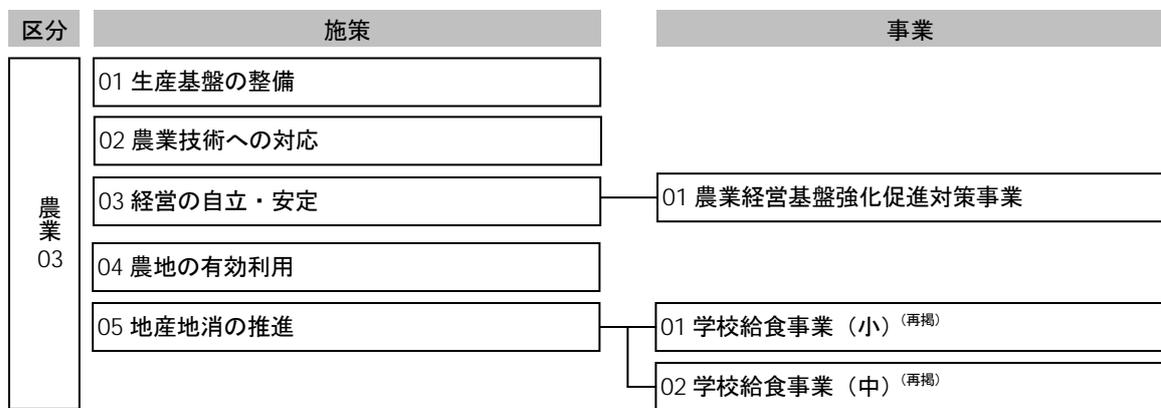
<p>■融資対策事業 【事業No.04020201←No.04010301】再掲</p>	<p>担当部課係名</p>	<p>産業部</p>	<p>商工振興課 金融係</p>	<p>ダイヤル</p>	<p>237- 5694</p>
<p>■地場産業振興対策事業 【事業No.04020202←No.04020101】再掲</p>	<p>担当部課係名</p>	<p>産業部</p>	<p>商工振興課 商工振興係</p>	<p>ダイヤル</p>	<p>237- 5693</p>

3 農業

施策の基本的考え方

- 優良農地*の確保・保全を図るため、生産環境基盤の整備を行います。
- 技術の実証展示と普及指導、優良種苗の生産供給、甲府ブランドの確立に努めます。
- 農家の自立と経営の安定を図るため、農業経営改善を支援し、農業関連施設の近代化の促進や生産販売対策の拡充、他産業との連携を図ります。
- 農地銀行*の活用促進、遊休農地*対策の推進、中山間地域直接支払い制度*の推進を行いながら、農地の有効利用を図ります。
- 地産地消*の促進を図ります。

施策・事業の体系



03 経営の自立・安定

■農業経営基盤強化促進対策事業 【事業No.04030301】	担当部課係名	産業部	農業振興課	ダイヤル	242-2661
			農業振興係		

事業概要

- 農業者及び関係団体をソフト・ハード両面で支援することにより、効率的で安定的な魅力のある農業経営を目指す農業者を確保・育成するとともに、これらが甲府市農業の相当部分を担うような農業構造の構築を目指す。

現況と課題

- 認定農業者数は、目標を達成したが、農業を取り巻く厳しい環境下において、個々の経営改善が計画どおりに進んでいない農業者が多い。
 国、県の施策が認定農業者に集中する中で、未認定農業者を認定農業者に誘導する為、関係機関と連携し候補者の明確化を図る必要がある。

今後の事業展開

- 農業者の実質的な経営改善が図られるような施策の展開を図る。
- 今後育成すべき（認定農業者に誘導すべき）担い手の明確化。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22～24)
			平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
平成21年認定農業者数265人 (目標数値)への達成率(%)	平成 20 年度 105.7	平成 21 年度 100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成 21 年度		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	
	5,573		13,676	5,326	5,326	

05 地産地消の推進

■学校給食事業（小学校） 【事業No.04030501←No.02010401】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

■学校給食事業（中学校） 【事業No.04030501←No.02010402】再掲	担当部課係名	教育部	学事課	ダイヤル	223-7322
			保健給食係		

4 林業

施策の基本的考え方

- 適正な森林施業の実施により、健全な森林資源の維持増進を図るため、治山事業の推進、林道の整備促進を行うとともに、「甲府市森林整備計画*」を基本に推進します。
- 林業経営の安定と、林業従事者の安定性を促進させるため、林業構造改善を推進し、林業の担い手の確保に努めます。
- 公益森林（水源かん養林）の整備促進を図り、水資源の安定確保のため、手入れの行き届かない民有林について、森づくりコミッションと連携し、「企業の森」等の誘致を推進するとともに、緑のボランティア*の活動促進を図ります。
- 森林整備地域活動支援交付金を活用して、森林とふれあう環境の整備を行うとともに、民有林の適時適切な森林施業の推進を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
林業 04	01 林業基盤の整備	
	02 林業経営の振興	01 森づくり推進事業（再掲）
	03 森林の保全	01 森づくり推進事業
	04 森林文化の創造	01 森づくり推進事業（再掲）

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

02 林業経営の振興

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040201←No.04040301】再掲	担当部課係名	産業部	森林整備課	ダイヤル	242- 2663
			森林保全係		

03 森林の保全

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040301】	担当部課係名	産業部	森林整備課	ダイヤル	242- 2663
			森林保全係		

事業概要

●本市の民有林は、8,300 haでその大部分が荒川流域に位置し、国土保全、水源かん養などに重要な役割をはたしている。しかし、最近の森林林業を巡る厳しい諸情勢下で、手入れされず荒廃が進んでいる人工林について、森林の適正な管理を推進する。

また、甲府市有林は全域水源かん養保安林であることから適切に管理するため、造林・保育事業を重点的に実施し、公益機能高度発揮が期待できる森林に導く。

さらに、荒川上流域の森林整備を図る目的に、市民に森林づくりの体験を通じて森林の果たす役割や重要性を学んでもらう。

現況と課題

●「甲府市森林整備計画」に基づく森林整備推進が、重要であるが、木材価格低迷などによる生産意欲の減退や、林業労働力確保などが大きな課題である。

今後の事業展開

●民有林においては、甲府市森林整備計画の着実かつ迅速な推進を図る。

また、甲府市有林については、森林施業計画に基づき効率かつ、効果的な森林整備の推進を図る。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
造林(保育)面積 (ha)	17	15	24	24	24	72
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	15,942		15,234	13,790	13,790	

04 森林文化の創造

■ 森づくり推進事業 【事業No.04040401←No.04040301】再掲	担当部課係名	産業部	森林整備課	ダイヤル	242- 2663
			森林保全係		

5 観光

施策の基本的考え方

- 観光客はもとより、ビジネスやコンベンション*を目的に来甲する人々が、短時間でも本市の魅力を感じることができ、次の機会にはリピーター*として訪れてもらえるような施策の展開を図ります。
- 多様な観光客を誘致するため、本市の豊かな地域資源を積極的に活用しながら、来甲者や観光客のニーズを的確に捉えた施策の展開を図ります。
- 本市の交通の利便性や立地条件を最大限活用しながら、国内外観光客の受け入れ体制の整備を図ります。また、観光客と市民との交流の主体となる担い手の育成に努めます。
- 本市の魅力を県内外に広く発信し、多くの人々に本市を訪れてもらうため、多種・多様・多面的な誘客宣伝活動の展開を効果的に行います。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
観光 05	01 都市型観光の推進	01 観光開発事業
	02 資源を活かした観光まちづくり	01 まつり推進事業
	03 受入体制の整備	01 観光開発事業 (再掲)
	04 情報発信の強化	01 観光開発事業 (再掲)

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

01 都市型観光の推進

■観光開発事業 【事業No.04050101】	担当部課係名	産業部	観光開発課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

事業概要

- 「甲府市観光振興基本計画」に基づき、「観光振興計画推進会議」を設置し、本計画の継続的な検証及び施策評価、数値目標の見直しを行い、観光関連団体等と連携、市民との協働による、「活力ある魅力的なまちづくり」を推進する。
- 「甲府市観光客誘致対策補助金交付制度」の周知を積極的に行い、滞在型観光客の増加を図る。
- パンフレットの作成、他市町村、民間等と連携したキャンペーンなど、効率的なPR活動を積極的に行うことにより、誘客の促進を図る。
- 昇仙峡及び湯村温泉郷の魅力向上と地域の活性化を図る。

現況と課題

- 観光産業は、裾野の広い多様な業種に関連しており、経済波及効果が非常に高いものであるが、すぐには事業効果が現れにくいものと考えられる。本市を訪れた観光客にリピーターとなってもらえるよう、広域連携による広報活動を積極的に行うとともに、関係団体等と連携した事業を展開することにより、滞在型観光客の増加を図ることが必要である。

今後の事業展開

- 近年、社会情勢の変化や価値観が多様化していることから、旅行形態もこれまでの見る観光から、グリーンツーリズムやヘルスツーリズム等といった体験や癒し等を目的とした旅行など、その形態は多種多様となっている。このため、インターネットを活用した顧客ニーズの迅速な把握に努め、本市の豊かな自然や歴史を最大限に活用し、独自性を発揮しつつ、観光客が感動できる観光地づくりを行う。
また、本市の持つ多様な観光資源のうち、昇仙峡が「平成百景」の全国で2位に選出され、甲府盆地の夜景も13位になるなど、この機会を逸することなく様々な媒体を有効に使い情報発信を強化し、「甲府市観光振興基本計画」における施策事業を、各種関係団体等と連携することにより、活力ある魅力的なまちづくりを推進していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値合計 (H22～24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
年間延べ宿泊者数 (千人)	—	607	610	613	616	1,839
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22～24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	9,404		26,651	12,816	12,816	

02 資源を活かした観光まちづくり

■まつり推進事業 【事業No.04050201】	担当部課係名	産業部	観光開発課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

事業概要

- 「信玄公祭り」や「甲府大好きまつり」を通じ市民のふるさと意識を醸成し、参加者の自発的意識のもと、市民連帯感の高揚を図るとともに、県内外の観光客に親しまれる祭りとして実施し、交流人口の増加を図る。

現況と課題

- 長い期間に渡って続けられてきた祭りやイベントは、ともすれば単に続けられているということのみとなり、信玄公祭りについては、祭りを通じて信玄公の功績を認識し、その遺徳を偲ぶこと、また大好きまつりにおいては、市民参加による連帯感の高揚、郷土愛の醸成という本来の目的が軽んじられてしまいがちである。こうした問題点を解決すべく信玄公祭りに関しては、第39回（平成21年4月）の開催より、第40回という節目の開催に向け、抜本的な改革を進めているところである。また、甲府大好きまつりにおいても、運営予算、参加団体の減少など多くの課題があり、第20回（平成20年8月）の開催より協賛金の募集や、各分野の専門家を招聘し、検討委員会を設置、開催するなど、課題の改善に向け現在継続的に取り組んでいる。

今後の事業展開

- 「信玄公祭り」については、第40回（平成22年4月）という節目の開催に向け、県、市をはじめとする関係団体が一体となり祭りに参画し、重厚感のある「日本一の武者祭り」となるとともに、観光客にとって魅力のある祭りとなるよう取り組んでいく。「甲府大好きまつり」については、より多くの市民が参加できるよう開催時期を毎年10月の第3土曜日に固定し、また各分野の専門家による検討委員会も引き続き開催するなど、祭りを進化させるべく、伝統の継承と時代に即した内容の見直し等に取り組んでいく。また、将来的には民間（市民）が主体となり積極的に祭りに参画し、行政は側面的支援に役割がシフトできるような事業展開を継続的に図っていく。

成果指標	実績値		見込み値		目標値		目標値合計 (H22~24)
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
信玄公祭りの人出 (人)	111,753	131,162	132,000	133,000	134,000	399,000	
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)	
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	22,300		19,500	19,500	19,500		58,500

03 受入体制の整備

■観光開発事業 【事業No.04050301←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光開発課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

04 情報発信の強化

■観光開発事業 【事業No.04050401←No.04050101】再掲	担当部課係名	産業部	観光開発課	ダイヤル	237-5702
			観光係		

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

6 生鮮食料品流通機構

施策の基本的考え方

- 市場を取り巻く様々な環境の変化に対応するため機能強化に努めるとともに、市場運営に関しては、民間活力の導入を視野に入れ、生産・消費者両サイドの期待に応えられる安全・安心な流通システムへの転換が図れるよう、効率的で経済的な運営方法の構築を図ります。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
生 鮮 食 料 品 流 通 機 構 06	01 市場運営の健全化	

7 山間地域

施策の基本的考え方

- 環境保全と開発の調和を基本とした森林の利活用を行いながら、農林業と観光産業の共存できる地域づくりに努めます。
- 山間地域の活用を図りながら、山村の振興に努めます。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
山間地域 07	01 自然環境の保全・活用	
	02 山間地域の活用	

8 勤労者

施策の基本的考え方

- 「労働問題懇話会」、「勤労女性問題懇話会」の提言を参考として勤労者福祉の向上に努めるとともに、中小企業の福利厚生事業を実施する（財）甲府市勤労者福祉サービスセンターの支援を行います。
- 勤労者の生活の安定のため、生活資金や住宅資金の貸付を行うとともに、拠点施設の充実や保養施設の利用促進を図ります。
- 山梨労働局、ハローワーク甲府、甲府商工会議所などの関係機関との連携を図りながら、若年層を対象とする就業支援を行います。また、退職後の高齢者の社会的活用と生きがい対策として、（社）甲府市シルバー人材センターの支援を行います。

施策・事業の体系

区分	施策	事業
勤 労 者 08	01 勤労者福祉	01 勤労者福祉サービスセンター推進事業
	02 勤労者の生活支援	01 勤労者融資対策事業
	03 雇用対策の推進	01 雇用促進対策事業

01 勤労者福祉

■勤労者福祉サービスセンター推進事業 【事業No.04080101】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- (財)甲府市勤労者福祉サービスセンターの活動を支援することにより、中小企業に勤務する勤労者及び事業主の在職中の総合的な勤労者福祉の増進を目的とする。

現況と課題

- 国庫補助金が平成22年度で終了することから、自立的運営ができる財政基盤の確立、組織体制作りが急務である。

今後の事業展開

- サービスセンターにおける経営改善方針及び計画の内容を見定めて、支援方を決定していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
会員数の推移 (人)	3,429	3,500	3,500	3,300	3,300	3,300
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	17,801		11,048	6,548	6,548	

02 勤労者の生活支援

■勤労者融資対策事業 【事業No.04080201】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 勤労者に住宅の新築、増改築及び購入に必要な資金や、医療、教育、その他資金の融資を行うことにより、勤労者の福祉の向上と生活の安定並びに、住環境の整備と定着人口の確保を図る。平成17年度から、勤労者住宅資金融資事業と勤労者生活安定資金融資事業とを統合した。

現況と課題

- 低利な融資利率と利用件数の向上。

今後の事業展開

- 融資事業の継続推進を図る中で、より利用しやすい制度となるよう、貸付利率や貸付限度額等の内容を適宜見直していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
			平成20年度	平成21年度	平成22年度	
融資枠(予算)に対する 融資実行率(%)	87.5	100	100	100	100	100
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	861,472		910,587	1,031,607	1,139,568	

*のついた用語は用語解説をご参照ください。

03 雇用対策の推進

■雇用促進対策事業 【事業No.04080301】	担当部課係名	産業部	労政課	ダイヤル	237-5736
			労政係		

事業概要

- 若年者への就業支援。
- 高齢者の生きがいや社会への積極的参加を推進していくため、(社)甲府市シルバー人材センターの運営管理を支援する。
- 労働、年金問題等に関する相談の充実。

現況と課題

- 従来は、高齢者を対象とした雇用対策が主であったが、若年者も含めた雇用対策を推進することとした。

今後の事業展開

- 甲府商店街連盟、甲府商科専門学校と連携した甲府市インターンシップ*制度の継続。
- 山梨労働局、ハローワーク甲府、甲府商工会議所と連携した就職面接会、企業合同説明会事業の推進。
- 中学生などを対象としたキャリア教育*支援事業の継続。
- 甲府市シルバー人材センターについては、ふるさと雇用再生事業を活用した福祉・家事援助サービス事業の展開及び地域の要望に即した企画提案型事業の実施などセンターの自立に向けた経営の安定を支援していく。

成果指標	実績値	見込み値	目標値			目標値 (H22~24)
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
インターンシップ参加学生数 (人)	50	50	50	50	50	50
事業費 (千円)	当初予算額(千円)		計画額(千円)			計画額合計 (H22~24)
	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	17,646		18,027	18,027	18,027	